



【各務原市】 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

全国学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析したことを、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として、小学校第6学年と中学校第3学年を対象に実施されています。今年度は毎年実施されている国語、算数・数学に加え、英語（中学校のみ）の問題も実施されました。同時に生活習慣や学習環境等について、質問紙調査も実施されました。

【各務原市全体の結果】

昨年度に続き、小・中学校ともに、学校・家庭において継続的に学力向上を目指して取り組んでいる成果が表れています。特に、国語の「話すこと・聞くこと」や算数・数学の「数と計算」・「数と式」、英語の「聞くこと」に関する問題の正答率が高かったです。さらに力をつけていくために、自身の課題や興味に応じて発展的な問題にも取り組んでいくとよいです。一方で、決められた条件の中で自分の考えを論理的に表現する問題に課題が見られます。そのため、学校では、様々な学習場面において、根拠を明確にして、自分の考えを話したり文を書いたりする取組を大切にしていきます。

教科に関する調査

小学校

- 国語 ○ 中心となる語や文を見付け、文の大まかな内容を捉える問題がよくできていました。
 △ 図表やグラフなどの資料から分かる情報を文に書いてまとめる問題に課題が見られました。
- 算数 ○ 伴って変わる2つの数量について、変化の特徴を読み取り、表の中の数値を求める問題がよくできていました。
 △ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を書く問題に課題が見られました。

中学校

- 国語 ○ 聞き取ったことを基に、目的に沿って考えを書く問題がよくできていました。
 △ 文章の構成や展開、表現の効果について考えを書く問題に課題が見られました。
- 数学 ○ 具体的な問題場面について、数を用いて表し、処理する問題がよくできていました。
 △ データの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を書く問題に課題が見られました。
- 英語 ○ 状況を描写する英語を正確に聞き取る問題がよくできていました。
 △ 事実や考えを整理し、まとまりのある英語の文を書く問題に課題が見られました。

質問紙調査

- ・授業では、話し合い、交流することで、考えを深め広げていると児童生徒自身が実感をもっています。対話を含む協働的な学びを今後も大切にしていきます。
- ・タブレット端末などの ICT 機器は、授業でよく使用し、学習の役に立っていると多くの児童生徒が感じています。確かな学力につながっていくように、今後も効果的に使えるようにしていきます。
- ・人の役に立ちたいと考えている児童生徒が多くいます。自己有用感の高まりを目指し、社会で活躍できるように支えていくことを今後も大切にしていきます。

各務原市では「誇り・やさしさ・活力のある児童生徒」を育てていきます。

たくましく生き抜く力を育成します。

- ・主体的、対話的で深い学びを実現し、確かな学力を育成していきます。
- ・教科の専門性を生かした指導を充実させます。
- ・基礎・基本定着問題集、ICT 機器を活用して学びを深めます。

安心して学べる教育環境をつくります。

- ・児童生徒一人一人に寄り添う教育を推進します。
- ・教育センター“すてっぷ”，教育支援センター等での相談活動を行います。
- ・中学校区のコミュニティ・スクールと小中一貫教育を推進します。
- ・専門性と人間性を磨く教職員の研修を充実させます。

